

令和 3 年 7 月 3 0 日

保護者 各位

芦屋市こども・健康部健康課
(芦 屋 市 保 健 セ ン タ ー)

子宮頸がん予防ワクチン定期予防接種のお知らせについて

盛夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のことと、お慶び申し上げます。

平素は、本市の保健行政の推進につきまして、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年度は平成 1 7 年 4 月 2 日から平成 2 2 年 4 月 1 日生まれ（接種時に小学校 6 年生から高校 1 年生に相当する年齢）の女子を対象に、子宮頸がん予防ワクチン（HPV）の定期接種を実施しております。本ワクチンは、3 回の接種を受けることで子宮頸がんの予防につながるとされていることから、平成 2 5 年より定期予防接種として実施しているところですが、厚生労働省では副反応症例等について十分に情報提供できない状況にあることから、接種機会は確保しつつ、適切な情報提供ができるまでの間は、積極的な接種勧奨を一時的に差し控えています。

令和 2 年 1 0 月 9 日に厚生労働省より「子宮頸がん予防ワクチン予防接種について、有効性および安全性等について十分説明したうえで接種を希望される場合は定期接種として接種できることをお知らせすること。」と通知がありました。このお知らせは、積極的な接種勧奨をするものではありませんが、下記のとおり定期接種の対象者にあたる女子とその保護者の方のうち、希望される方が接種できるように、みなさまに情報をご送付させていただきます。

何卒、ご理解くださいますようお願いいたします。

記

1 対象者 小学 6 年生～高校 1 年生相当年齢の女子（標準的接種期間は中学 1 年生）

2 接種回数・間隔

下記の 2 種類があります。 ※3 回接種の途中で、ワクチンの種類を変えることはできません。

*令和 3 年 5 月現在、サーバリックスについては、供給量について出荷量の調整がされており、厚生労働省の通知により、すでに接種している人を優先的に接種することになっていきますので、初めて接種する人は、接種できません。

	サーバリックス（2 価）*	ガーダシル（4 価）
1 回目	1 回目接種	1 回目接種
2 回目	1 回目より 1 か月後 (または 1 か月以上の間隔)	1 回目より 2 か月後 (または 1 回目より 1 か月以上あける)
3 回目	1 回目より 6 か月後(または 1 回目の接種後 5 月以上かつ 2 回目の接種から 2 か月半以上 の間隔をおいて)	1 回目より 6 か月後(または 2 回目より 3 か月 以上あける)

3 実施場所 芦屋市子宮頸がん予防ワクチン定期予防接種実施医療機関（下表）

※他市で接種を希望される場合は、事前に保健センターで手続きが必要です。

医療機関	電話番号	住 所	医療機関	電話番号	住 所
市立芦屋病院	31-2156	朝日ヶ丘町39-1	鈴木小児科	34-0766	高浜町7-2-105
青い鳥クリニック	21-6330	南宮町12-24-2	多田医院	32-3884	打出小槌町13-5
芦屋駅前小野内科クリニック	61-5335	大原町5-22-1F	冨永医院	22-3823	公光町10-20
芦屋グランデクリニック	22-8000	前田町3-5	長澤クリニック	25-0075	船戸町2-1-107
あしやサニークリニック内科	61-5515	翠ヶ丘町2-8-101	永松クリニック	32-3399	松ノ内町10-18
芦屋たいらクリニック	38-7291	川西町6-19	ながれたに内科クリニック	22-4592	津知町3-12
芦屋橋本クリニック	21-3131	業平町6-31	ひよこキッズクリニック	22-1450	月若町8-2-2-1F
芦屋やまもとクリニック	23-3715	東山町29-19	平林医院	22-3548	浜町9-5-101
あずみクリニック	25-1078	松ノ内町6-23	ペインクリニック芦屋ピッコロ診療所	25-1347	船戸町3-19-1F
阿部レディースクリニック	25-0401	公光町7-15-1F	松葉医院	22-1641	翠ヶ丘町1-4
いとう内科	32-2030	西芦屋町8-19	松村内科クリニック	31-0813	伊勢町7-27
ウィメンズクリニック布谷	25-2520	船戸町1-29-5F	みむらクリニック	32-5172	大原町15-14
オガタファミリークリニック	25-2213	松ノ内町2-3-2F	宮崎内科クリニック	25-2528	春日町7-3-201
かわもり小児科	34-6321	竹園町6-22	メイプルこどもクリニック	25-0911	岩園町1-7
高内科	38-0022	東山町5-8-2F	吉田内科クリニック	38-7210	業平町5-2-6F
さわだクリニック	23-7117	川西町8-12	渡辺産婦人科小児科	22-5027	船戸町6-21
重信医院	31-2480	西山町11-3			

4 費 用 無 料（高校1年生相当年齢の女子は令和4年3月31日まで）

※接種期限を過ぎると任意接種となり有料になります。

5 持 ち 物 母子健康手帳

【お問合せ先】

〒659-0051

芦屋市呉川町14番9号

（芦屋市保健センター）

TEL (0797) 31-1586

FAX (0797) 31-1018

がい よう ばん
概要版

詳しく知りたい方向けの詳細版もあります。

小学校6年 ~ 高校1年^{相当}の女の子と
保護者の方へ大切なお知らせ



あなたと
関係のあるがんがあります

ウイルス感染でおこる子宮けいがん

詳細版
P2~3

「がんってたばこでなるんでしょ？」

「オトナがなるものだから私は関係ない」って思っていないですか？

実はウイルスの感染がきっかけでおこるがんもあります。その1つに子宮けいがんがあります。

HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因と考えられています。

このウイルスは、女性の多くが“一生に一度は感染する”といわれるウイルスです※。

感染しても、ほとんどの人は自然に消えますが、一部の人でがんになってしまうことがあります。

現在、感染した後にどのような人ががんになるのかわかっていないため、

感染を防ぐことががんにならないための手段です。

※HPVは一度でも性的接触セックスの経験があればだれでも感染する可能性があります。



女性の多くがHPV(ヒトパピローマウイルス)に
“一生に一度は感染する”といわれる

がんになる場合も

感染を防ぐことが
がんにならないための手段

<何人くらいが子宮けいがんになるの?>

日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮けいがんになり、毎年、約2,800人の女性が亡くなっています。患者さんは20歳代から増え始めて、30歳代までのがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も、毎年、約1,200人います。

<一生のうち子宮けいがんになる人>

1万人あたり132人

2クラスに1人くらい

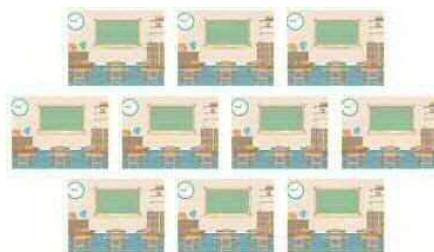


1クラス約35人の女子クラスとして換算

<子宮けいがんて亡くなる人>

1万人あたり30人

10クラスに1人くらい



つまりこれってどのくらい？

子宮けいがん^{けい}で苦しまないために、できることが2つあります

詳細版
P4

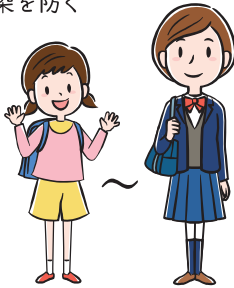
① 今からできること

日本では、小学校6年～高校1年相当の女の子を対象に、子宮けいがんの原因となるHPVの感染を防ぐ

ワクチンの接種を提供しています。

HPVの感染を防ぐことで、将来の子宮けいがんを予防できると期待されています。

イギリス、オーストラリアなどでは女の子の約8割がワクチンを受けています。



② 20歳^{さい}になったらできること

HPVワクチンを受けていても、子宮けいがん^{けい}検診^{けんしん}は必要です。

2年に1度 検診を受けることが 大切です。



HPVワクチンの効果

詳細版
P5

HPVの中には子宮けいがんをおこしやすい種類のものがあります。

HPVワクチンは、このうち一部の感染を防ぐことができます。

そのことにより、子宮けいがんの原因の50～70%を防ぎます※。

※ワクチンで防げる種類のHPVが、子宮けいがんの原因の50～70%を占めます。

HPVワクチンで、がんになる手前の状態(前がん病変)が実際に減ることが分かっている、がんそのものを予防する効果を実証する研究も進められています。



HPVワクチンのリスク

詳細版
P6

多くの方に、接種を受けた部分の痛みや腫れ、赤みなどの症状^{しょうじょう}が起こることがあります。

筋肉注射という方法の注射で、インフルエンザの予防接種等と比べて、痛みが強いと感じる方もいます。

ワクチンの接種を受けた後に、まれですが、重い症状^{おもいしょうじょう}※1が起こることがあります。

また、広い範囲^{はんい}の痛み、手足の動かしにくさ、不随意運動^{ふずいいうんどう}※2といった多様な症状が報告されています。

ワクチンが原因となったものかどうかわからないものをふくめて、

接種後に重篤^{じゅうとく}な症状^{しょうじょう}※3として報告があったのは、ワクチンを受けた1万人あたり5人です。

ワクチンを合計3回接種しますが、1回目、2回目に気になる症状が現れたら、

それ以降の接種をやめることができます。

接種後に気になる症状が出たときは、まずはお医者さんや周りの大人に相談してください※4。



※1 重いアレルギー症状(呼吸困難やじんましんなど)や神経系の症状(手足の力が入りにくい、頭痛・嘔吐・意識の低下)

※2 動かそうと思っていないのに体の一部が勝手に動いてしまうこと

※3 重篤な症状には、入院相当以上の症状などがふくまれています。

報告した医師や企業の判断によるため、必ずしも重篤でないものも重篤として報告されることもあります。

※4 HPV ワクチン接種後に生じた症状の診療に係る協力医療機関をお住まいの都道府県ごとに設置しています。

まずは、知ってください

すべてのワクチンの接種には、効果とリスクとがあります。
まずは、子宮けいがん^{けい}とHPVワクチン、子宮けいがん^{けい}検診^{けんしん}について知ってください。
周りの人とお話してみたり、かかりつけ医などに相談することもできます。



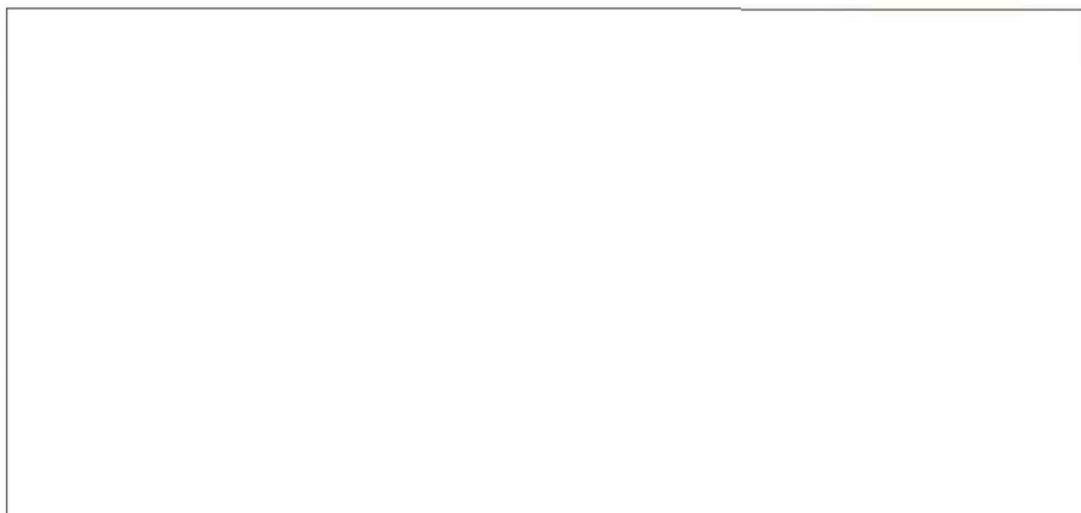
ワクチンを受けることを希望する場合は

詳細版
P5,8

小学校6年～高校1年相当の女の子は、ワクチン接種が公費で受けられます*。
今、日本で使われているワクチンは2種類あります。
病院や診療所^{しんりょうじょ}で相談し、どちらか一方を接種します。
ワクチンの種類によって接種の間隔^{かんかく}が少し異なりますが、
どちらも半年～1年の間に3回接種を受けます。接種には、保護者の方の同意が必要です。
※公費の補助がない場合の接種費用は、3回接種で約4～5万円です。

対象年齢の
女の子は公費

半年～1年の間に
3回接種



もっと詳しく知りたい方は

このご案内の内容をもっと詳しく説明している「あなたと関係のあるがんがあります<詳細版>」や、
その他のご案内をご覧ください。

厚生労働省 子宮けいがん



このご案内は、小学校6年～高校1年相当の女の子やその保護者の方に、
子宮けいがんやHPVワクチンについてよく知っていただくためのものです。
接種をおすすめするお知らせをお送りするのではなく、
希望される方が接種を受けられるよう、みなさまに情報をお届けしています。